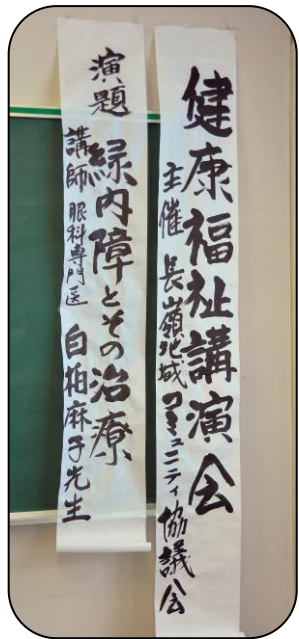


# 長嶺地域コミュニティ協議会だより

平成21年12月17日 「健康福祉講演会 緑内障とその治療」 特集号  
発行 長嶺地域コミュニティ協議会広報部 発行責任者 丹羽 仁(☎243-0318)



12月17日、白柏麻子先生による健康講座「緑内障とその治療」が開催されました。大勢の方々からご参加いただき、盛況裏に終わることができました。  
身近な長嶺コミュニティにいらっしゃる白柏先生のお話をうかがう機会にめぐまれました。目の構造は、わかっているようでわからない複雑な構造をあらためて学ぶことができました。緑内障は、何かの原因で視神経が障害され、視野が狭くなる病気で眼圧（目の中に流れている液体・房水の圧力）の上昇が原因の一つとのことです。緑内障は、自覚症状がなく知らないうちに進行していくこと、両目でカバーしあったりするのでわかりにくいこと等がわかりました。最も重要なことは、「早期発見、早期治療」病気の進行をくい止めることです。とにかく目に違和感、変と感じたら、すぐ受診・年一回の検診、心掛けて行きましょう。

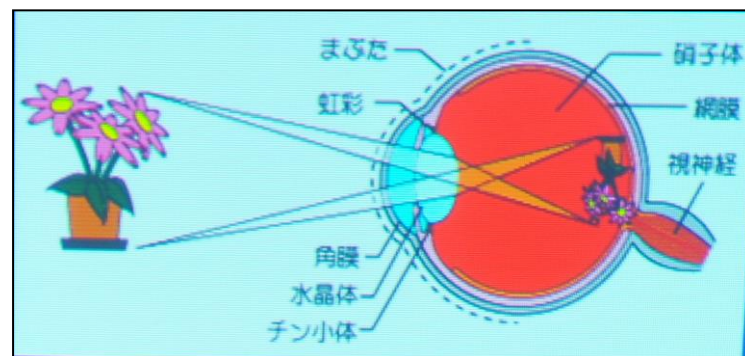


健康福祉部長 松原明子

## 講師紹介

白柏眼科医院 白柏麻子先生（眼科専門医）  
（新潟大学医学部 昭和62年卒業）  
新潟市中央区沼垂西

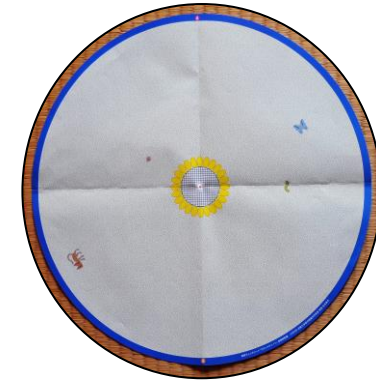
## 目の構造と機能



- ・目は、光の情報を集める器官
- ・眼球は、おおよそピンポン玉ほどのおおきさで、直径は約22~24mm、重さは約7g
- ・眼球は、脳の神経とつながっている



プロジェクターを使用して講演される白柏先生



緑内障の早期発見が出来る円盤で「視野の欠け」をチェックします



片目ずつチェックします



(インターネット **NTG40** 検索 でも出来るそうです)



講演後 活発な質疑応答がありました

## 質疑応答から

- ・飛蚊症はどこに起こるのですか？  
飛蚊症は40才を過ぎる頃から多くなってくる病気で、硝子体に濁りが発生して起こります。網膜に異常が生じて、網膜剥離や網膜変性などによる飛蚊症が発生する時は治療が必要です。
- ・白内障と緑内障はどこが違うのですか？  
白内障は水晶体(レンズ)が濁ってくる状態で、年を召した方だけでなく病気による合併症で白内障になる事もありますがほとんどは手術で治ります。  
緑内障は視神経が、おもに眼圧によっておかされて視野が狭くなり、ものが見えにくくなる病気です。
- ・白内障の手術後、時々白眼の所が赤くなるのですが？  
結膜下出血というのであれば治りますが、診察をしないで大丈夫とは言えませんので一度 病院へおいで下さい。
- ・ドライアイとは？  
季節性があり、夏の紫外線やドライバーがサングラスを掛けずに走っていたりすることもあります。  
冬季の暖房による乾燥が影響することもあります。  
重症な病気ではありませんが、悪化時は来院して下さい。